

事 務 連 絡
平 成 2 5 年 8 月 3 0 日

国立大学法人京都大学 御中

文 部 科 学 省
研究開発局原子力課

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	京都大学原子炉実験所における全国共同利用の促進
実施機関	国立大学法人京都大学
実施期間	平成22年度～平成24年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●原子炉実習コースおよび放射線計測コースを新たに開発・実施することで、原子炉及び放射線に対して興味を持たせ、共同利用研究に関心をもたせることができたことは評価できる。参加者からも満足度の高い評価を得ており、今後とも本実習が継続的に実施されることを期待する。

●京都大学原子炉実験所として全国共同利用を促進するために、設備・計測器等の充実化を図り、研究用原子炉KUR及び付設のホットラボラトリの有効利用が促進されたことは所期の目標を概ね達成したと評価できる。

＜今後への参考意見＞

●放射線計測コースへの参加者が、目標人数に対して大変少なかったことが残念である。東日本大震災の影響でマシンタイムが逼迫したことにより事業環境に変更が生じたことはやむを得ない事情であったが、今後は、本事業で得られた実習のノウハウや整備した機器等を有効に活用し、充実した共同施設の利用促進に努めて頂きたい。

●現下の原子力を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、大学において専攻を決める前の学生に対して、体験的に放射線計測や初歩的な原子炉実習等を経験させることも、今後の取組として検討して頂きたい。